



日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
 640-8114 和歌山市船場町16
 日教組和歌山内
 TEL 073-436-6820

原発は ハフタツ！

山本博明

膨大な被害と死者・行方不明者二万二千人超を含む多くの犠牲者が出た東日本大震災から十二年が経った。当時、テレビ画像を通して、生々しい大津波の脅威に驚きと恐怖・哀しみを覚えたのを今でも思い出す。

その後、被災地の復興は進んでいるのだろうか。福島原発の復興の格段の遅れは、明らかに原発事故が元凶である。

去る三月四日、プラザホールで「福島原発事故の後始末の行方と責任」と題して、今中哲二さんの講演があった。コロナ禍で定員六十名の会場はほぼ満席。因みに日退教和歌山の参加者は六名だった。

講演の中で、「十二年前の原発事故と放射能汚染の現状」が語られた。

東京電力内部チームから、福島原発で十mを超える津波の可能性ありと報告があったが、津波対策を怠った。その結果の原発事故であり、人災と言える。しかし、誰も責任をとらない。

事故後、約三百人もの子どもや若者が小児甲状腺がんと診断され手術を受けている。しかし、原発事故による被曝と小児甲状腺がんとの因果関係を認めようとしらない。

今も毎日、百五十トンの地下水が流れ込み、汚染水は増え続けている。保管タンクは満杯に近づき、東電と政府は、汚染処理水を薄めて海に放出しようとしている。

何れも、不誠実と無責任が罷り通っている。

廃炉はいつ完了するのか？ 汚染土の処分先は？避難者が安心して帰還できるのはいつか？山積する課題は重く、解決の見通しがつかない。

今中さんは『原発の抱える「事故の危険性」と「放射性廃棄物の厄介さ」を考えると、私たちの社会は、エネルギー源として原子力を利用すべきでない。』と結論付ける。

「原発の安全神話」が崩れ、反省と教訓から進めるべきエネルギー政策が、原発優先に逆戻りしようとしている。からっきしだめ総理は、新たに原発を建設し、古い原発は運転期間を更に延長す

る方針で、今国会で関連法案を成立させる腹である。全く腹立たしい限りだ。

原発（ハフタツ）！

連合和退連主催 世界遺産保全活動

「熊野古道 道普請ウォーク」に参加

南万栄三

3月15日（水）すこく良い天気恵まれ、熊野古道道普請ウォークに参加してきました。

連合和歌山傘下の労組の退職者会の人たち38人が集まり、日退教和歌山からは3人参加しました。

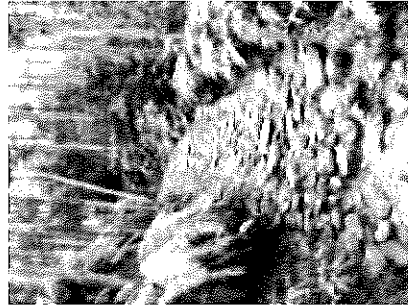
バスで熊野古道「伏拝王子」のバス停で降り、そこから2班に分かれて道普請の場所まで、ガイドさんから説明を受けながら、鳥のさえずりを聞き、山桜を見て、風景を楽しみながら山道を2キロほど歩きました。

途中、少し早い時間でしたが昼食となり、2段重ねの香らしい雰囲気のある弁当を仲間たちと一緒に春の風を感じながらの昼食、たいへん美味しかったです。これで道普請のための腹こしらえができました。さあ頑張ろう。

現場では、町の職員の方が用意してくれた1トンの土を袋に詰め、両手に持って15段の階段と坂道を上り50m離れた雨によって流されてしまった土がない場所に土を入れる作業です。私は、二往復、少し若い人は、四、五往復と頑張ってくれました。30分ほどで土を運び終え固めて作業が終わりました。久しぶりに汗をかき、ホカリが喉を潤し美味しく感じました。

さあ、これからが本宮大社までの熊野古道ウォークです。ガイドさんによると約4キロ、90分の道のり、「えっ」と声があがるが年寄り集団は、元気に歩き始めました。

ガイドさんは、所々で立ち止まっては歴史を含めた説明をしてくれました。



約一千年以上前の旅人が熊野詣をするためにこの道を歩いていた。いま私たちも歩いているのだと思うと少し不思議な気持ちになる。中2mほどの山道、石畳の所もあるが、ほとんどは土道である。この道をどれだけの人が歩いたのだろうか。熊野信仰の偉大さが感じられる。

歩く中で、外国の人たちとも出会うこともあった。さつそつと歩く姿は「さすが若者」彼らは、世界遺産の「熊野古道参詣道」をどんな気持ちで歩いているのだろうか。日本人がローマの町を歴史を感じながら歩いている気持ちと同じなのかなあと思ひながら後ろ姿を見送っていた。

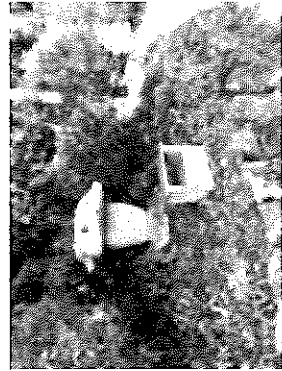
さすがに半分ほど歩く頃には、息も荒くなつて歩幅も狭くなり、休憩する回数も増えていく。道端の小さな花を見つけては写真に、年数の経った櫓、王子の祠を写し歴史を感じながら歩き続けた。やっと本宮大社の裏に着きました。最後までがんばり、歩き通した年寄り集団、2、3日後には足が動かないのではないかなと思つほど久しぶりに歩いた。

最後に、ガイドさんから本宮大社についての説明を聞き参拝を終えた。本宮大社は、元々熊野川の「大斎原」という中州にあったが、明治22年の水害で社が流され、残った社をいまの高台に移築・再建されたとのこと。大斎原には、平成12年に作られた日本一大きな鳥居がある。一人で行けば、少し神々に見られている雰囲気漂う場所である。

朝から八つまで4時間、遠い昔の人と出会えたものと感じながら熊野古道参詣道のウォークを終えた。

来年も和退連の行事として行つようである。胸が許せば、

また参加したいものである。会員のみならず皆様もどうぞか。





日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

シリーズ2 ミツバチの歴史

大山隆生

ミツバチは地球上いたる所に生息していますが、養蜂の歴史は古く、エジプトのツタンカーメンの墓の壁画に養蜂の様子が描かれています。当時は粘土で作ったと思われる巣箱を使っていたようです。また、古代ローマ時代には養蜂でミツバチを得るだけでなく意図的に蜂に刺されることによりリウマチの治療にも活用されていたようです。実際「日本ミツバチ保存会」の会員が何度か刺されて肩こりが改善したと聞きました。蜂の毒には組織を軟らかくする働きがあるようです。現在も泉南で西洋ミツバチを使った鍼治療をしている鍼灸院があるそうです。

さて、日本での養蜂は平安時代に紀州熊野や対馬で行われたのが始まりと言われています。当時蜂蜜は貴重品で幕府や朝廷への献上品として重宝されたと文献に残っているようです。

江戸時代に田辺の有田蜜一（江戸期の偉人）が養蜂のノウハウを書物にまとめ、養蜂技術を日本中に広めたと言われています。また、この頃幕府には養蜂方が置かれていたようです。

1887年、明治政府が農林水産省の主導で、畜産の近代化を図るため、採蜜能力に優れた西洋ミツバチ（洋バチ）が導入され、洋バチによる本格的な養蜂が始まりました。当時はロシア・フランス・イタリアから輸入したのですが、現在はほとんどイタリアバチによるものです。シゲトや菜の花畑がたくさんあった子どもの頃、本格的な養蜂家はトローリーに巣箱を載せて契約した農家の畑に巣箱を置き、鹿児島から開花に合わせて採蜜しながら東北地方まで北上していくという養蜂が行われていました。日本ミツバチ（和バチ）の採蜜能力は洋バチの五分の一程度しかありません。従ってこのような養蜂は採蜜能力の高い洋バチによるものです。洋バチは嗜好癖があるためシゲ・みかん・マンゴー・アカシア等の花の近くに巣箱を置けば単一の花の蜜が得られるわけです。一方、和バチは花畑に巣箱を置いてちねの近くの花には蜜を採りに行きません。これはちねの場所を

外敵に察知されないようにするための防衛本能が働いているためと考えられており、より野性的と言えます。また、花に対する嗜好癖が少ないため四方八方から色々な種類の花の蜜を集めてきます。従って和バチによる単一の蜜は得ることができません。しかし、この蜜は「百花蜜」と呼ばれ、さっぱりとした上品な甘さがあり大変希少価値の高いものです。純粋の百花蜜は国内のミツバチ生産量の1%程度といわれています。

そもそも、ミツバチが花の蜜を集め巣の中に蓄えるのは、越冬中の食料保存のためです。冬場は花が少なくなるうえ、「ハチは8℃」といわれており8℃以下では活動できません。

また、蜜を蓄えるだけでなく花粉も蓄えています。ミツバチにとって花の蜜は主食の1飯で花粉はおかずのようなものです。さらに水も飲みます。

また、花粉は育児係から幼虫の餌として与えられます。離乳食のようなものでしょうか。さて大正6年には洋バチと和バチの飼育群数が逆転し、1920年代に入ると養蜂の技術がさらに整い始め、給餌（砂糖水や花粉）をすることや、防曇防寒対策・抗生剤使用で病気の予防等で、洋バチによる生産性が飛躍的に伸びました。1923年、養蜂振興法が制定され、養蜂家だけでなく趣味者も含め年一回、一月一日現在で和バチ・洋バチを飼っている人は、県の農水課へ届け出ることが義務化されました。これは規制する目的ではなく、蜜源が競合することを避けたり、サックブルドウィルスやアカリシダニ発生情報を伝え感染拡大を予防するための制度です。養豚には「豚コレラ」、養鶏には「鳥インフルエンザ」、牧牛には「狂牛病」があるように養蜂にも感染症の予防が大切です。生業としての養蜂は家畜と同じことでしょうか。趣味としての養蜂はペットでしょうか。

現在、生業としての養蜂はほとんどが採蜜効率の良い洋バチですが、企業がリストアップ回避の手段として希望者を募り、養蜂に取り組んでいるところがあります。また、京都府中央区役所では「街興し」の一環として、役所の屋上で養蜂をおこなう、小学生の校外学習の場としても活用しているようです。ここは二条城が近いので蜜源が豊富に

あるとおもわれます。このほかに高校の部活動、老人ホームの余暇活動、農協の婦人部等で扱っているところがあります。もちろん私のように「日本ミツバチ保存会」の一員として活動している人もいます。日本ミツバチの生態研究と保護繁殖に、また、会員相互の研修交流に今しばらく取り組んでいきたいと思います。

前回の「ミツバチの歴史（シリーズ1）」に誤りがありました。訂正してお詫言申し上げます。

2行目「もる者です。↓もるものです。」

30行目「養蜂の進め↓養蜂の勧め」

※数字のアンバランズは算用数字に。

連合和退連主催 囲碁大会 湯川和洋さんが4位になる

湯川さんは、教員在職中から囲碁がめっぽう強くて、毎年、この大会に参加してくれています。今年は、頑張ってくれ4位になりました。優勝は、JF労組和歌山退職者の会 倉脇康倫さんでした。

日退教和歌山のこれからの行事

*恒例の番のバスツアーを再開します。

まだ行き先は検討中ですが、

実施日は、5月23日（火）です。

後日、募集のパンフを配布します。

*新たに、「ヨカ教室」を開きます。

日時は、5月13日（土）10時半～12時

中央公民館で、ヨカの基本から家でもできるヨカを教えてください。

少し硬くなった身体をほぐしてみませんか

詳細は、同封のパンフを見てください。

*トルコ・シリア大地震の被災地に募金しました。

「小さく生み大きく育てる」
「男女雇用機会均等法」の生みの親であ
る赤松良子さんの言葉「小さく生み大き
く育てる」と「男女雇用機会均等法」の
成立に苦勞した赤松良子さん

日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

女性議員を増やそう!!

会長 竹内孝子

お彼岸も過ぎ、春さも揺らいでまいりました。
会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年は統一地方選挙の年ですが、選挙の
度に思うことは女性議員の少なさです。

和歌山県議会議員42人のうち女性議員は藤本
まり子議員を含め3人（7・3%）。都道府県議
会の女性議員の比率は11・8%（2021年）
と大都市を除いて伸び悩んでいます。

国政レベルでみると、女性議員の比率は衆議院
で9・7%、参議院で23・1%、衆議院の女性
議員の比率は世界190か国中168位という低
さです。（2022年）

なぜ、日本では女性議員が増えないのでしょ
うか。背景には「政治は男がやるもの」といった性
別役割分業意識があり、身近に女性議員が少ない、
ロールモデル（お手本となる人物）がないことも
一因と考えられています。

諸外国の例に学ぶと、女性議員を増やすには「ク
ォータ制」の導入が有効だと気付きます。

「クォータ制」を最初に導入したのは、ノルウエ
ーです。政党による「自主的なクォータ制」に始
まり、「男女平等法改正」（1988年）によって、
「物事を求める公的な場は一方の性が40%以下
であってはならない」ことが義務化されました。

2000年に「クォータ制」を取り入れたつら
ンスや韓国では、2020年には女性議員の比率
がフランスでは12%台から4割に、韓国では5
・9%から17・3%に増えました。

日本でも「クォータ制」を求める動きが起こっ
ています。2018年に「候補者男女均等法」（政
治分野における男女共同参画推進法）が成立し、
翌年の参議院選挙で候補者に占める女性の比率は
28・1%、2022年の選挙では33・2%と
初めて3割を超えました。残念ながら、衆議院選
挙（2021年）では女性候補者が2割に達せず、
比率も17・7%と以前より下がってしまいまし
た。 ※クォータ制＝割の当て制

「女性活躍」や「震災元の少子化対策」を掲げ
た安倍・岸田政権ですが、「3年間赤ちゃん抱っ
こし放題」や「育休・産休中のリスキリング（学
び直し）」の発言によって、育児をしたことのな
い「オッサン政権」の発想が露呈しました。

女性議員が増えると社会が変わります。女性
が一人で意見を主張するのは難しいことですが、数
が増え、30%を超えると雰囲気が変わります。
集団の意見として機能し、政策決定の大きな力に
なるのです。

今年は「候補者均等法」施行後2回目となる統
一地方選挙です。国際女性デーの3月8日、『ク
ォータ制を推進する会』（代表・赤松良子）は、
院内集会『議席の半分に女性を!!とする各党！
統一地方選』を開きました。政党によって4割と
2割と目標にばらつきがありますが、統一地方選挙で多くの女性議
員が誕生することをめざして取り
組んでいくことを確認しました。

選挙に限らず、私たちの生活は
すべて政治と結びついています。
私たち高齢者が生き生きとゆたか
に暮らせるような社会をめざして
全国の仲間とともに政治に働きか
けていきましょう。



袴田事件

一日でも早く再審・無罪を!!

3月20日、検察は特別抗告を断念し、裁判の
やり直しが決まった。東京高裁が「証拠の捏造の
可能性」について言及したことから再審では無罪
となる可能性が高いが、余りにも長い裁判である。

袴田さんは、48年の長い拘留のせいで心身と
もに変調をきたしている。87才までの57年間、
冤罪と闘ってきた袴田さんには一日でも早く無罪
が確定し、晴れ晴れとした日を送って欲しい。

2014年に袴田さんは釈放となったが、それ
以前に死刑が執行された可能性もある。「裁判は
間違っていることもある」という前提にたてば死刑制度
は廃止した方がよい。

4月は、統一地方選挙の月です。

日退教和歌山も地方議員を推薦しています。

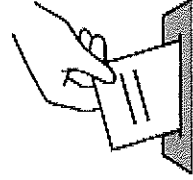
日退教和歌山も県議選では、数少ない女性の候
補として、元教員で日政連議員の『藤本まり子』
さんが立候補しています。

また、市議選では、日政連議員の『山本ただす
け』さんが立候補しています。

両名とも日退教和歌山が推薦している候補者で
す。改めてお知らせします。

投票に行こう

和歌山では、4月に、県議会選挙、
市議会選挙、衆議院議員和歌山1区
補欠選挙があります。



*衆院1区補選

告示日 4月11日 投票日 4月23日

*県議選

告示日 3月31日 投票日 4月9日

*市議選

告示日 4月16日 投票日 4月23日

投票は、国民・県民・市民の権利です。今ど
選挙でも投票率が低いですが、私たちの暮らしは
政治と密接に繋がっています。私たちが暮らしや
すい政治を求めるには、自分が信じる候補者に一
票を投じることにしたいと思います。社会は投票に行か
なければ変わりません。必ず投票に行きましょう。

投票日当日が用事で行けず人は、「期日前投
票」という制度があります。どの選挙も、告示日
翌日から投票日前日までの期間で投票できます。

（イオンなどの施設にも設置されています。）